

## 目 次

### 学術集会

#### 第 35 回学術集会

臨床委員会企画招待講演およびシンポジウムについて …… 黒田泰輔ほか …… 1

#### 第 35 回学術集会 臨床委員会企画シンポジウム

競走馬と競技馬におけるドーピングと薬物管理 …… 座長：石川裕博

コメンテーター：Dr. Pierre-Louis Toutain …… 4

#### 講演

日本中央競馬会（JRA）における 2023 年からの新たな薬物規制制度

について …… 溝部文彬 …… 5

競走馬理化学研究所における最新の薬物検査体制および国際的な評価 …… 河津知樹 …… 11

日本の馬術競技における治療とドーピングコントロール …… 天谷友彦 …… 16

競走馬におけるフルニキシンの薬物管理モンテカルロシミュレーションを

用いた検出期間の予測 …… 黒田泰輔 …… 19

競馬および馬術競技の公正性の維持に資する競走馬理化学研究所の研究 …… 石井英昭 …… 25

### 学術集会

第 35 回学術集会 馬の絵画展 …… 倉田タカユキ …… 31

### お知らせ

…… 37

### 協賛団体・賛助会員名簿

…… 38

### 編集後記

Hippophile No. 93

### - 編集委員 -

編集担当常任理事・編集委員長 楠瀬 良（日本装蹄蹄協会）

編 集 委 員	阿部 憲二（全国乗馬倶楽部振興協会）	戸崎 晃明（競走馬理化学研究所）
	荒川由紀子（農林水産省）	永井富美子（エディター）
	有吉 正徳（競馬ライター）	沼田 恭子（NPO 法人引退馬協会）
	北野あづさ（日本馬術連盟）	古林 英一（北海学園大学）
	木村李花子（東京農業大学）	三浦 暁子（エッセイスト）
	近藤 誠司（北海道大学）	守谷 久（ジャーナリスト）
	近藤 高志（JRA 競走馬総合研究所）	山下 大輔（日本馬事協会）
	末崎 真澄（馬の博物館）	山本 真広（地方競馬全国協会）
	関 正喜（ジャーナリスト）	

表紙絵：騎手（The Jockey）：アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック（1864-1901）1899 年 49.8×34.1 センチ多色刷り

リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science